

MIRACLE LINUXの特長と 高信頼システムの事例紹介

ミラクル・リナックス株式会社
エンタープライズビジネス本部
プロフェッショナルサービス部

アジェンダ



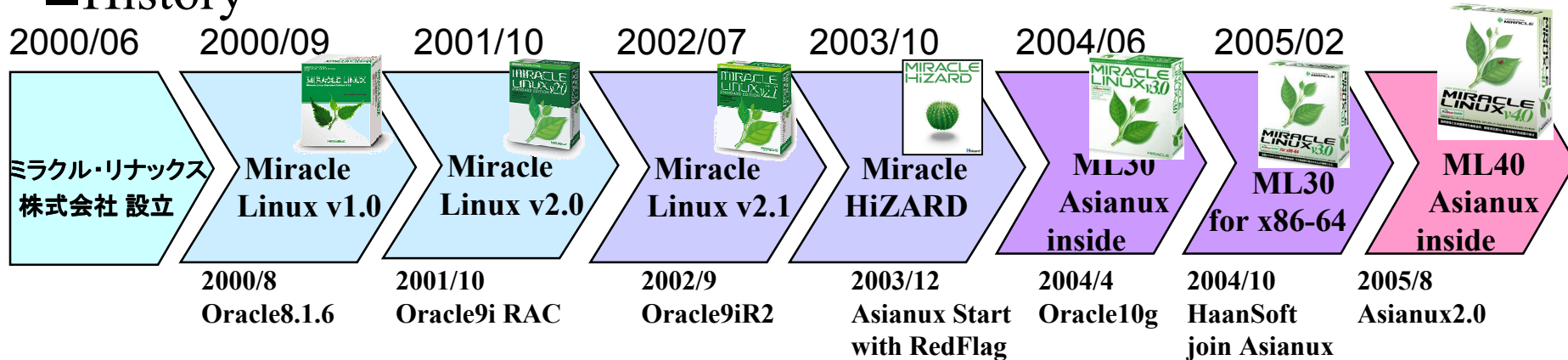
- 企業概要のご紹介
- Asianuxプロジェクトについて
- MIRACLE LINUX V4.0 (Asianux2.0)のご紹介
- MIRACLE LINUXの優位性
- ミラクル高可用性ソリューション
- 5社との協業について
- 高可用性DBシステムの事例紹介

企業概要のご紹介

ミラクル・リナックス企業概要



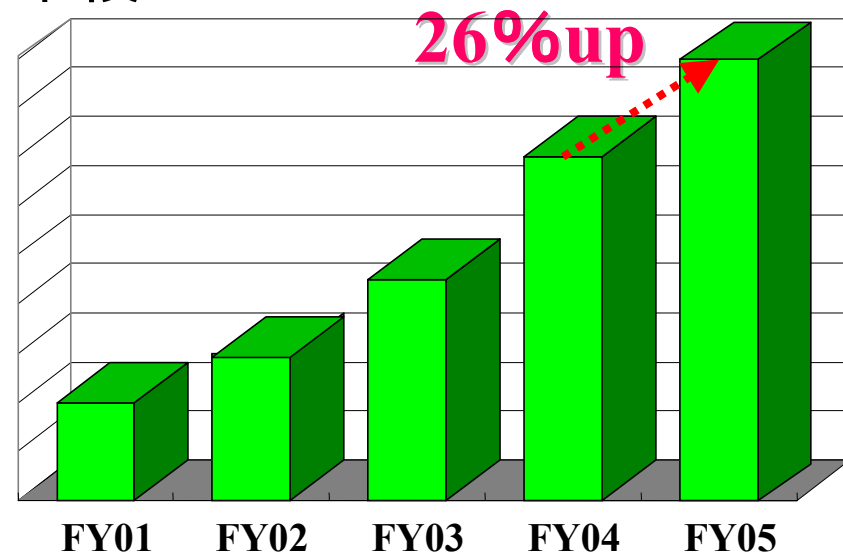
History



プロフィール

- 社名：ミラクル・リナックス株式会社
- 設立：2000年6月1日
- 代表者：佐藤 武
- 資本金：4億円
- 出資比率：
 - 日本オラクル株式会社 58.5%
 - 日本電気株式会社 14.0%
 - 株式会社サンブリッジ 4.0%

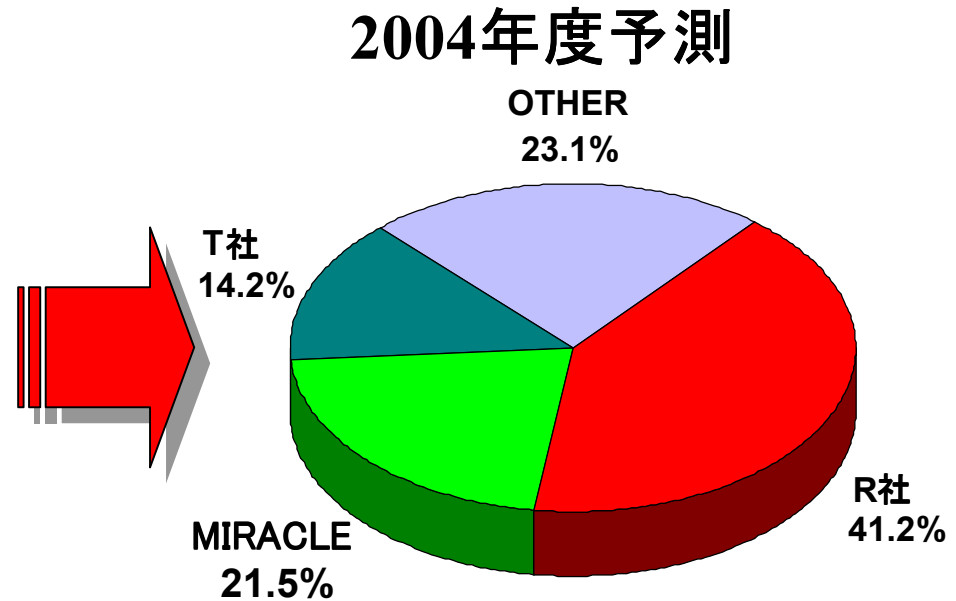
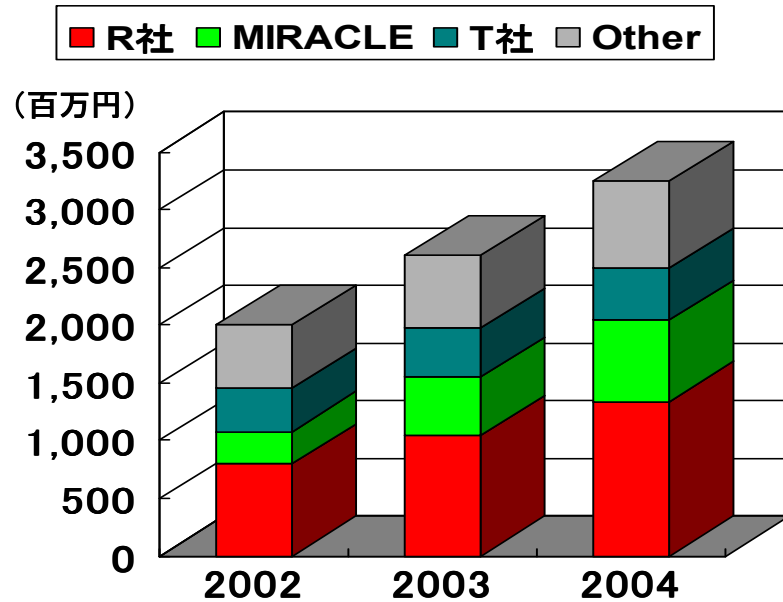
業績



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

日本のLinuxマーケットの動向



	CAGR 02-03	CAGR 03-04
R社	30.4%	27.6%
MIRALCE	81.8%	40.0%
T社	10.5%	9.5%
Total	30.0%	25.0%

**成長率No1は
MIRACLE LINUX !**

*サーバクライアントの売上を含む
出典: MIC Research Institute August 2004



Customer First

顧客満足度の向上

New Asian Linux Standard

アジア標準プラットフォーム

Make IT Secure with Miracle

セキュアなIT基盤を構築



連携・貢献

経済産業省・総務省
OSDL、オープンソースシンポジウム
コミュニティ

開発

日本・中国・(韓国)共同開発
マルチバイト対応
セキュリティの強化

顧客満足度

顧客志向の高品質なソフトウェアプロダクトと
プロフェッショナル・サービスを提供、
アジアで最も信頼される「Linux」企業

プロフェッショナル・サービス
豊富な導入実績：
官公庁 金融 流通・サービス 製造
サービス・実績

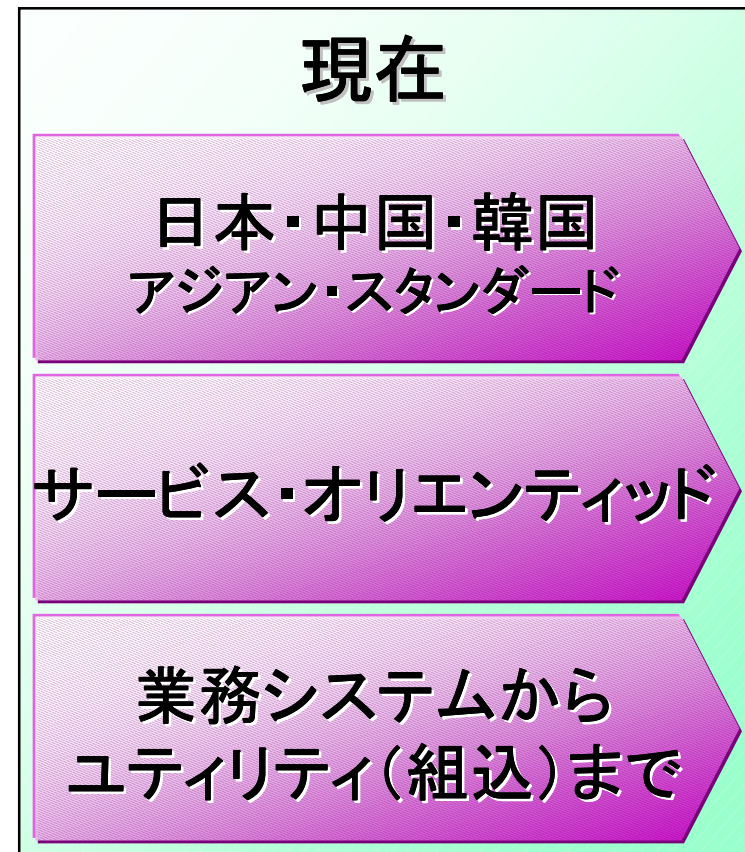
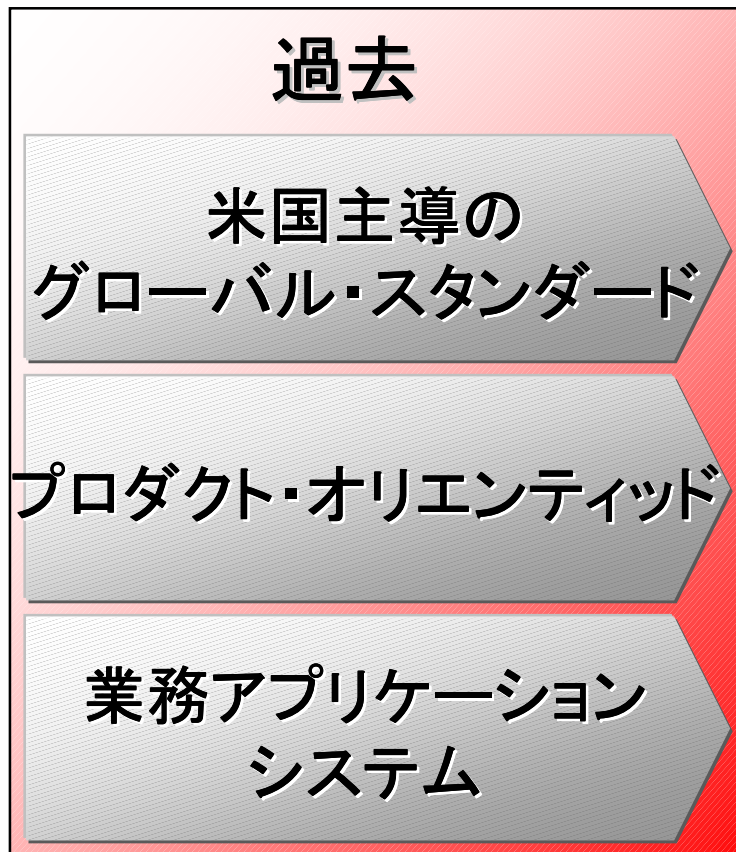
Certification Program
With Miracleプログラム
各ローカルネイティブによる検証

品質



アジア共通のLinux基盤を提供

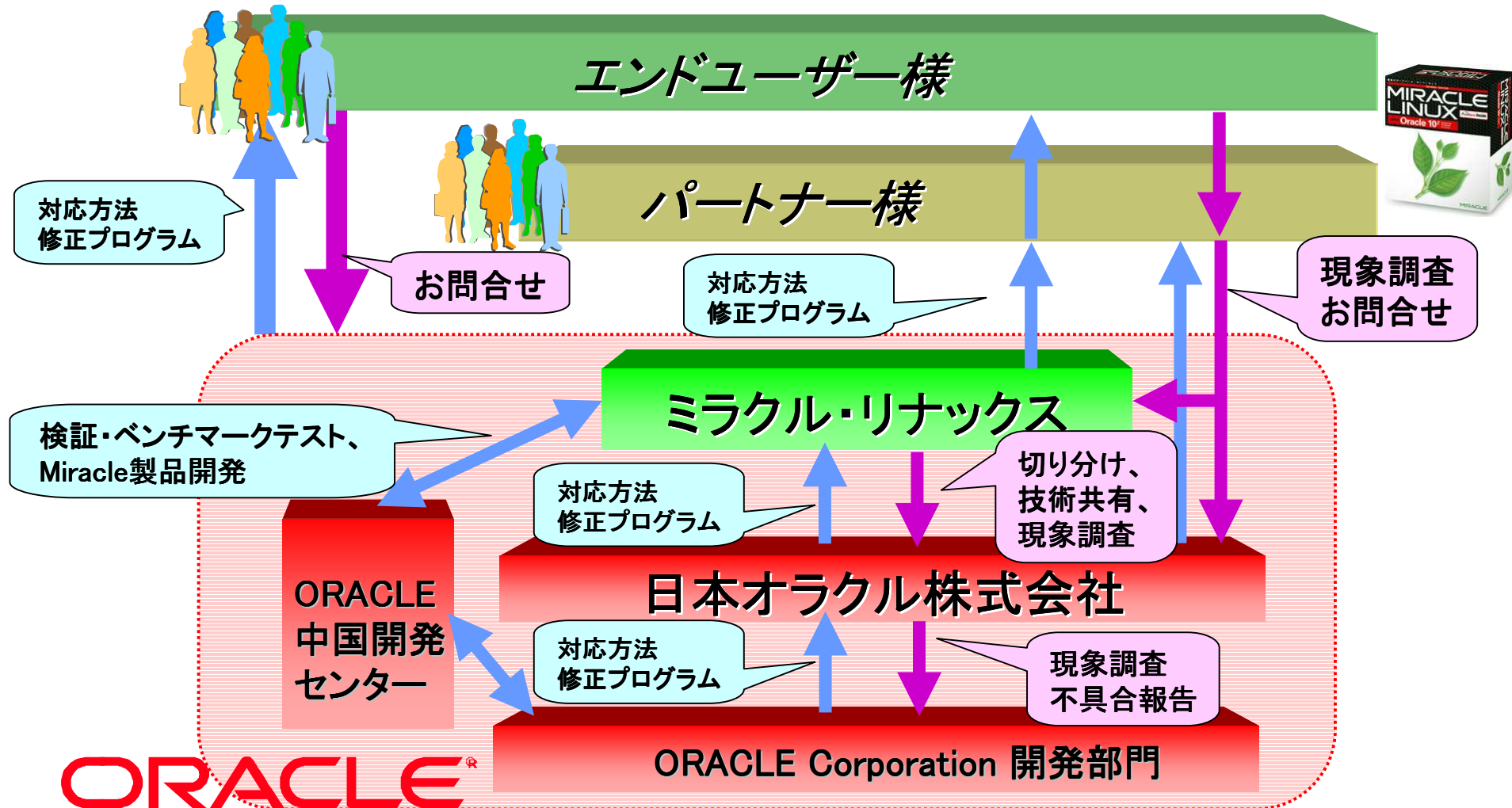
Asianuxプロジェクトにより、アジアの各国から参加者を募り、ノウハウを集約し、
協調しながら、アジアに根ざしたLinuxディストリビューションを開発



オラクルとの協業スキーム(UNBREAKABLE LINUX)



オラクルと連携し、充実し、安定したLinux基盤を提供



ORACLE®

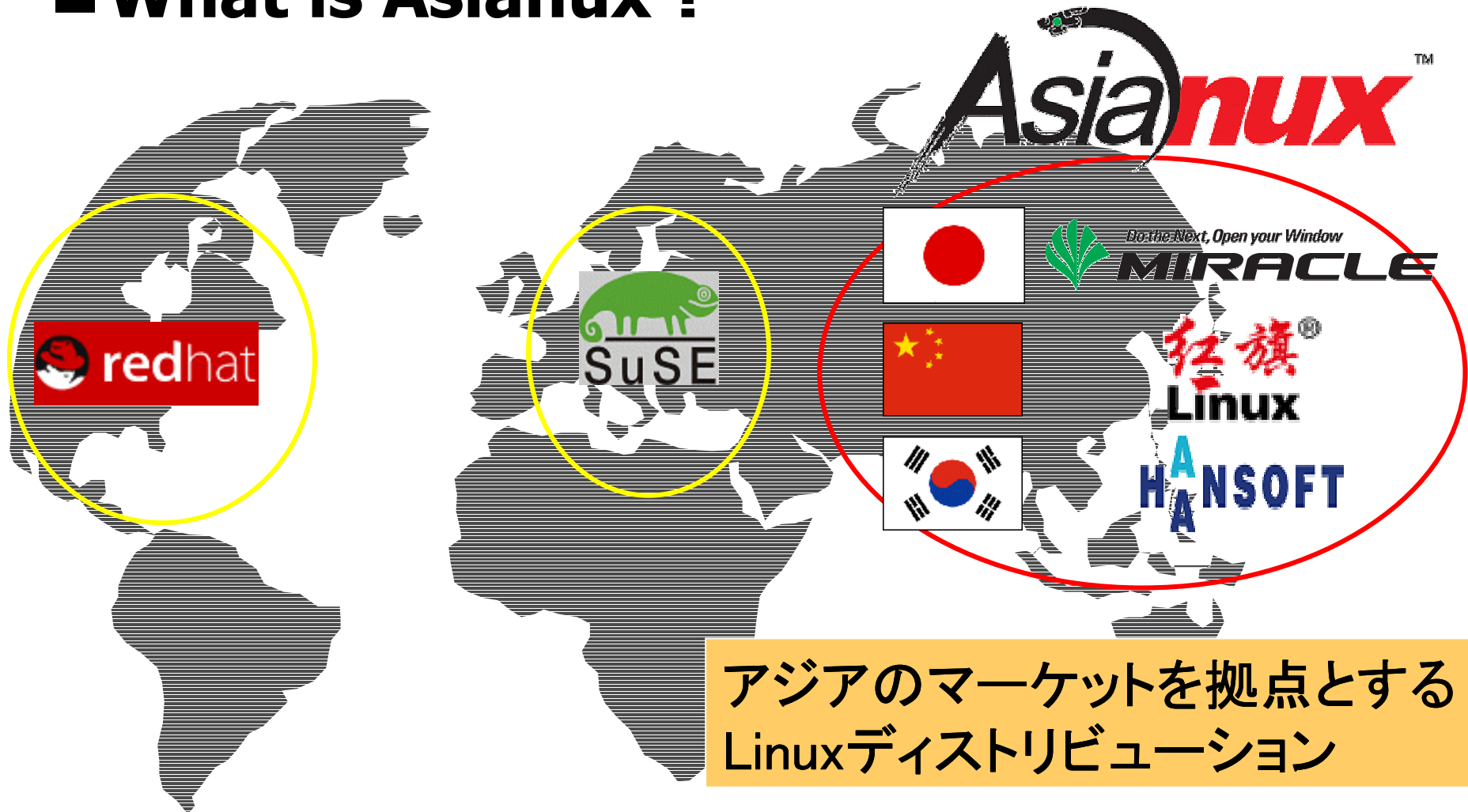
Do the Next, Open your Window

MIRACLE

Asianuxプロジェクトのご紹介



■ What is Asianux ?



アジアのマーケットを拠点とする
Linuxディストリビューション

Asianux 協業スキーム

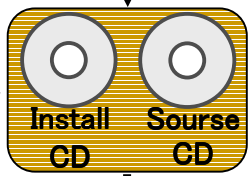


Asianux共同開発チーム/サポートチーム



Asianux 2.0

IHV/ISV
Certification



中国

日本

韓国

Red Flag DC 5.0

Install CD, Source CD, Companion CD, Evaluation CD

Asianux2.0

中国語マニュアル

MIRACLE LINUX V4.0

Install CD, Source CD, Companion CD, Developer CD, Oracle10g evaluation version

Asianux2.0

日本語マニュアル

HAANSOFT Linux 2006

Install CD, Source CD, Companion CD, Evaluation CD

Asianux2.0

韓国語マニュアル

Do the Next, Open your Window

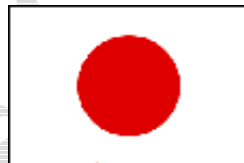
MIRACLE

What's Asianux



アジア標準のLinuxに、そして世界へ

- 日本・中国・韓国の代表的なLinuxベンダーの技術を集結し、アジアのニーズに最適化したLinuxを開発すると共に充実したサポート・サービスを提供する
- Certificationの為のIHV・ISVの広範な支持を獲得する



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

RedFlag Softwareプロフィール



■ プロファイル

- 2000年6月設立
- 社長代行: Chris Zhao氏
- 中国科学院軟件研究所が出資し、人材も派遣

在造的為中在戰的心中



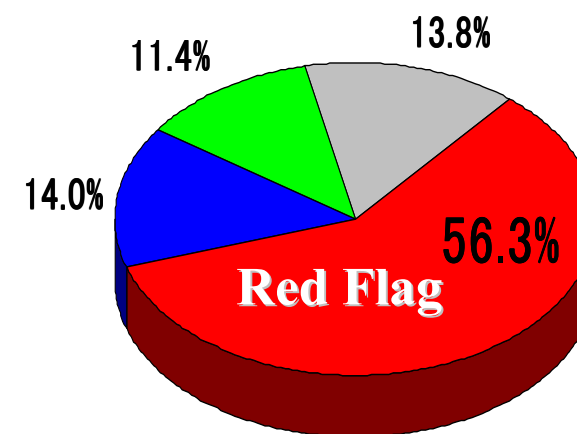
■ 実績

- 起帆 (QiFang), 楊帆 (YangFang) Desktopプロジェクトへの参画
- 2002年度100万台以上の出荷実績

■ 顧客

- 国家郵政総局 (China Post)
- 国家經濟貿易委員会
(State Economic & Trade Commission)
- 国家安全部
人民代表大会常務委員会情報センタ
- 全国総工会
- 国家科技部

2002年度中国Linux出荷台数



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

HAANSOFT プロファイル

HAANSOFT



■ プロファイル

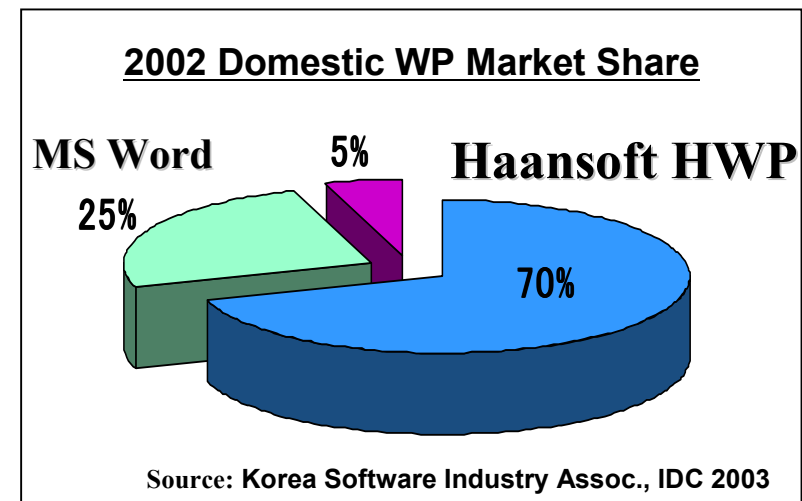
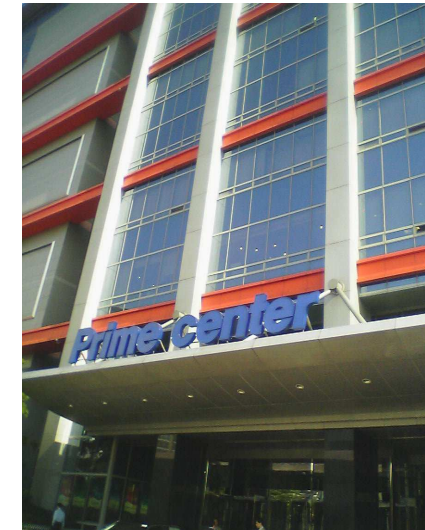
- 1990年11月設立 ,社長:J.J. Beak
- 1996年9月 Kosdaq上場、主要株主:Prime Group
- 資本金:544億韓国ウォン(54億円)

■ 業績

- 2003年度:183億韓国ウォン(18億円)
- 2004年度上半期:166億韓国ウォン(16億円)

■ 実績

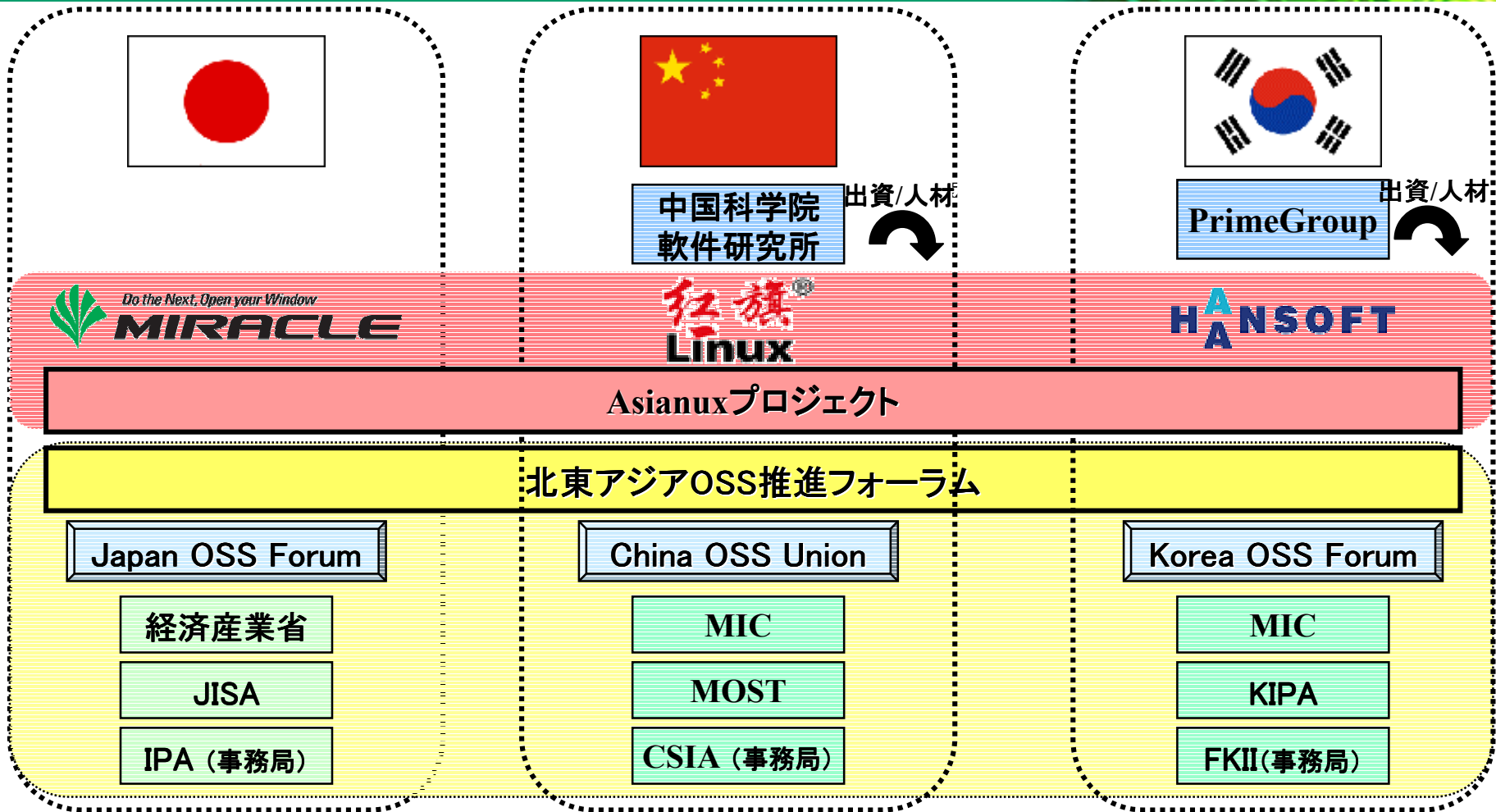
- Haansoft Linux 2006 server - Asianux Inside が韓国国内最大のLinuxプロジェクト NEISに採用決定(2005/8)
- 韓国内におけるWordのシェア70%



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

Asianux参加企業と政府プロジェクトとの関係



*IPA : 独立行政法人情報処理推進機構
*JISA: 社団法人情報サービス産業協会

*MII : 情報産業部
*MOST: 科学技術部
*CSIA : 中国ソフトウェア産業協会

*FKII : 韓国情報産業連合会
*KIPA : 韓国ソフトウェア振興院
*MIC : 韓国情報通信部情報通信政策局

Do the Next, Open your Window

MIRACLE

Asianux History



2003年12月 : RedFlagとミラクル・リナックスにより、
Asianux1.0の開発スタート

コードネームは koumei

2004年6月 : Asianux1.0 x86版リリース

2004年9月 : Asianux1.0 IPF版リリース

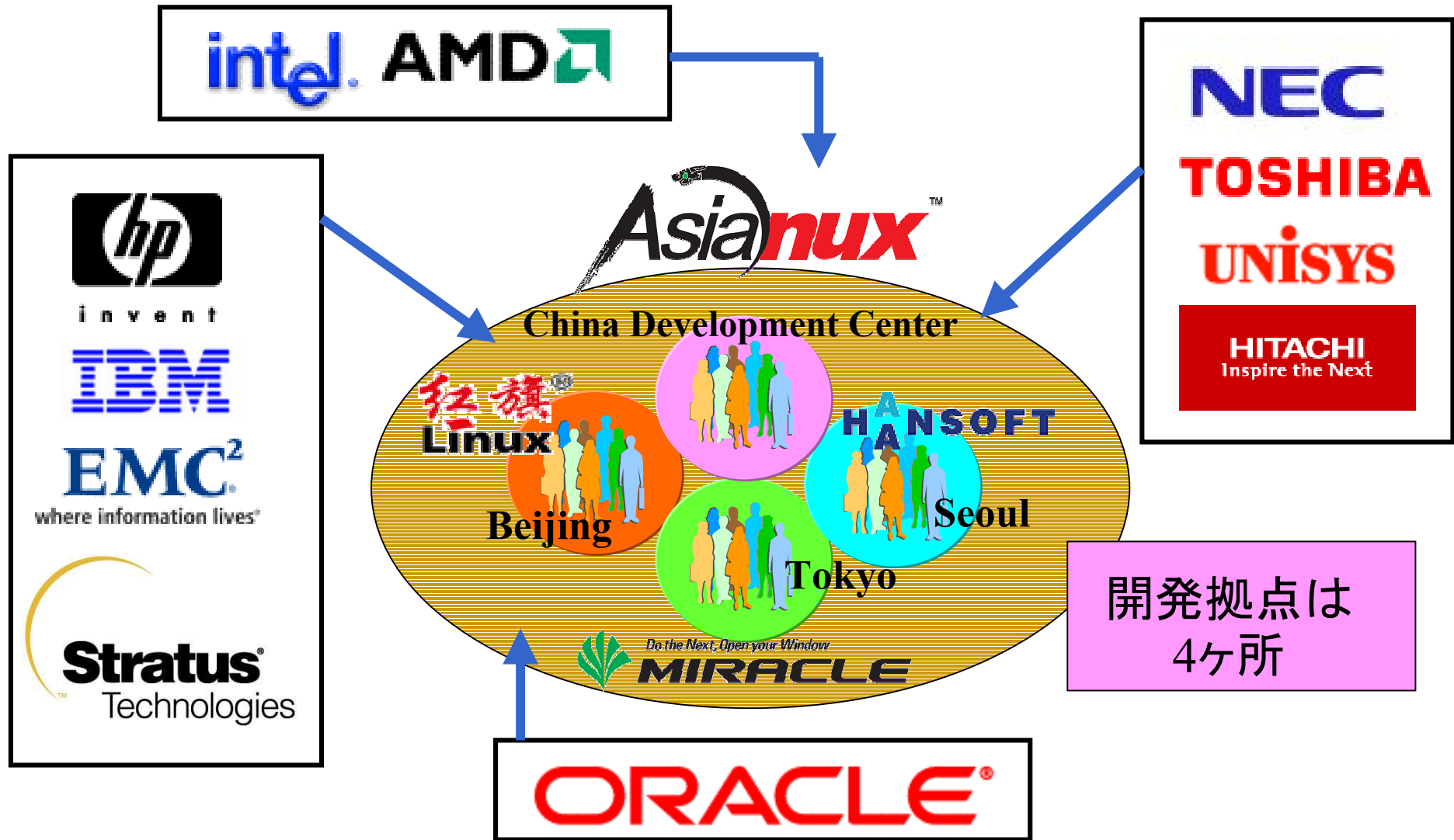
2004年10月 : HaanSoft社のAsianux参加発表

2005年2月 : Asianux1.0 x86-64版リリース

2005年8月 : **Asianux2.0 IA32, x86-64, OpenPower版リリース**

コードネームは trinity

Asianux 開発体制とアライアンス



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

最新のアライアンス状況 ～ 提携・協業～



テレコム市場向け、「無停止型Linuxサーバ」
提供に向け初の戦略提携

2005/5/24発表



技術提携で合意、Linuxビジネス協業に向け
た評価、開発を共同で実施

2005/5/30発表



オープンソースソフトウェア事業強化
WindowsドメインのLinux移行促進

2005/5/31発表



インテル ソリューション・センターの開設
64ビットへの移行に向けて体制強化

2005/4/26発表

Do the Next, Open your Window

MIRACLE



MIRACLE LINUX V4.0 について
「Asianux2.0」

Asianux次への挑戦



最新のカーネル2.6を採用した次期バージョン
Asianux™ 2.0を2005年8月26日にリリース

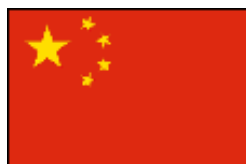
「MIRACLE LINUX V4.0」 11月7日リリース



Do the Next, Open your Window
MIRACLE

MIRACLE LINUX V4.0
- Asianux Inside

11月7日出荷



红旗®
Linux

Red Flag DC Server V5.0
-Asianux Inside

8月26日出荷



HAANSOFT

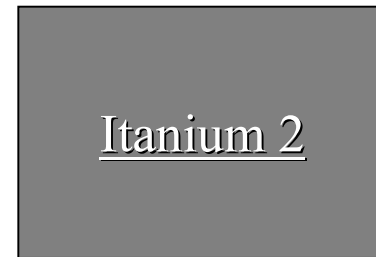
HAANSOFT Linux 2006
-Asianux Inside

8月26日出荷

Do the Next, Open your Window

MIRACLE

対応アーキテクチャ



※SP1から

Asianux 2.0のコンセプトとターゲット



コンセプト

RAS(信頼性/可用性/保守性)の強化
Stratus用機能実装/キャリアグレードLINUX採用

対応プラットフォームの拡充
Stratus FT / x86-64 / Itanium2/Open Power

日本語・中国語・韓国語の強化
UTF8/EUC/SJIS/GB18030

操作性の強化
KDEベースの「ReFineD」を導入

ターゲット市場

**ミッション・クリティカル
キャリア/ IDC / ISP**

**データベース・基幹系
商用UNIX**

**官公庁・地方自治体
金融・流通**

**業務クライアント
システム管理**

RASの4つの強化ポイント



カーネル2.6の導入

高負荷時の安定性とスケーラビリティの改善
(プロセススケジューラ/マルチスレッド処理/ディスク入出力)

CGL(Carrier Grade Linux)対応

CGL V2.0.2が定義するプライオリティ1の機能をほぼ実装
(OpenIPMI / Event Logging)

障害解析機能強化

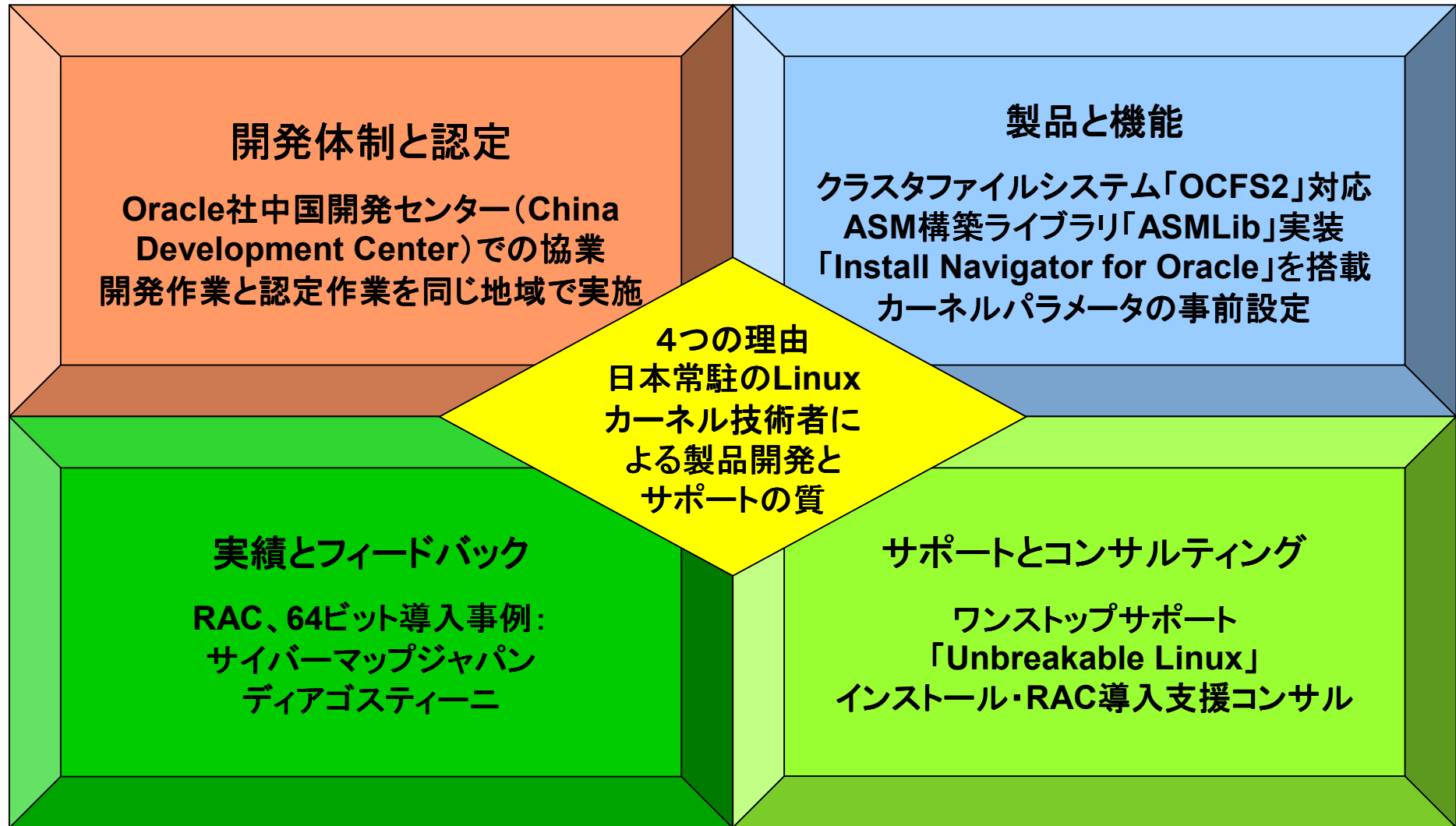
OSS推進フォーラム開発基盤で開発されたツールの採用
(LKST/DAV)

Stratus ftServer®対応

メモリーミラーリング / SCSIレイヤの強化

MIRACLE LINUXの優位性

オラクルとの親和性



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

日本語環境／エンタープライズ機能



■ 日本語環境の充実

マルチバイト、日本語表示をきちんとサポート

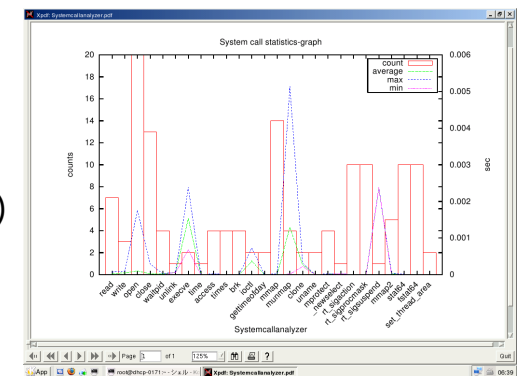
Samba日本語対応	Windows機種依存文字の表示
UTF対応	日本語特殊文字の表示
SJIS対応	汎用機やUnix、Windowsなどのユーザアプリケーション資産の継承
その他	PostgreSQL国際版の導入 PHP国際化版の導入 apacheなどの関連するS/Wの国際化版の導入

■ エンタープライズ機能の搭載

カーネルダンプ機能: LKCD, diskdump, netdump

カーネルトレース機能: LKST (ML4.0: 性能解析ツールに対応)

- ML2.1よりLKCDを搭載し、dump解析サービスは5年の実績
- diskdump(ML4.0)では、cciss(HP), USB Storageに対応



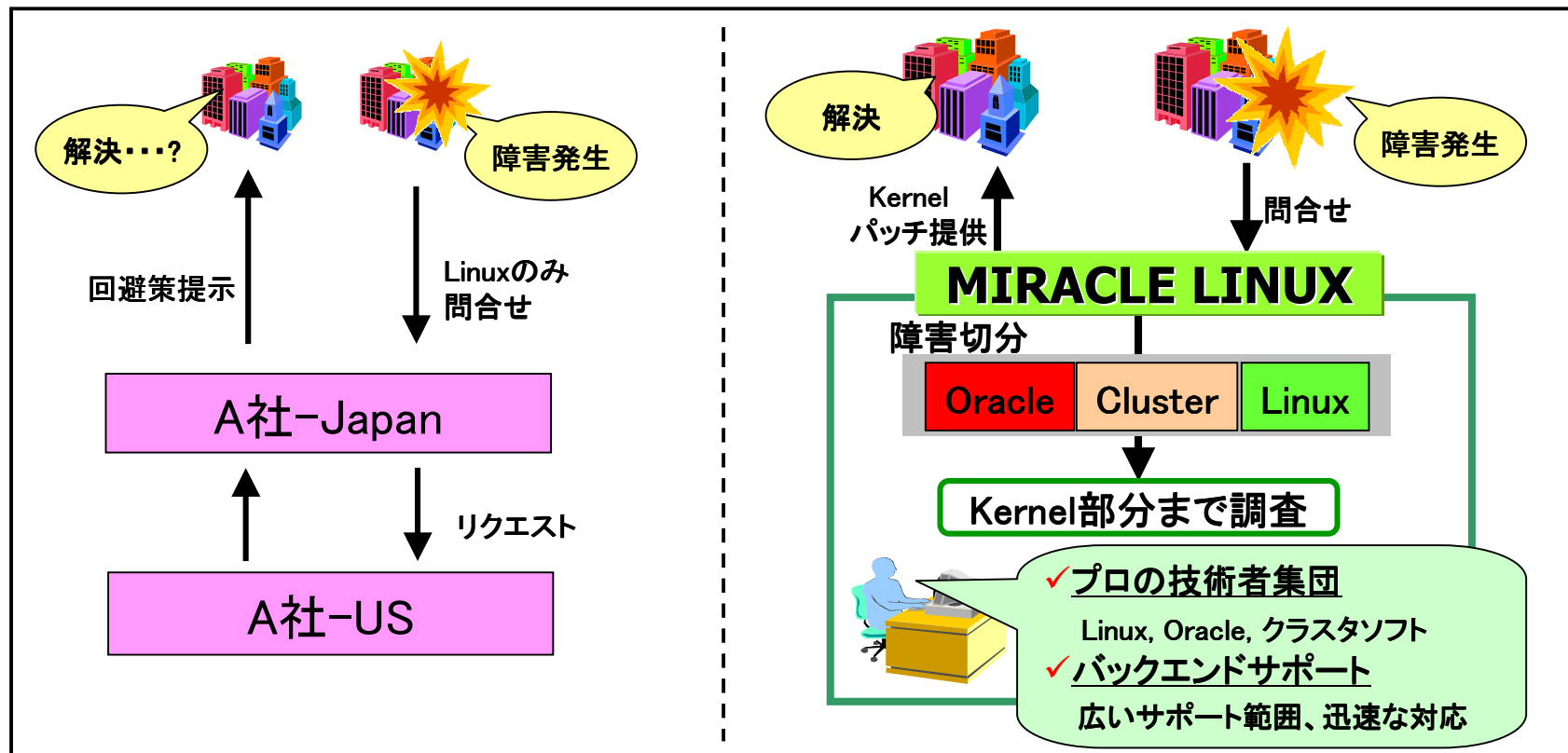
Do the Next, Open your Window

MIRACLE

サポート体制



- 信頼性の高いサポートサービス
OSとOracle、クラスタの障害を切り分け、日本にて迅速にクリティカルな障害に対応



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

製品構成比較

MIRACLE LINUX V3.0
Asianux Inside

VS

Red Hat
Enterprise Linux AS V3.0



	MIRACLE	Red hat
カーネルバージョン	2.4.21	2.4.21
Glibcバージョン	2.3.2	2.3.2
最大メモリサポート	64GB	64GB
最大CPUサポート	32CPU	32CPU
Ext3サポート	○	○
ReiserFSサポート	○	×
SGI XFSサポート	○	○
Net Dump	○	○
Disk Dump	○	×
LKCD(Linux Kernel Crash Dump)	○	×
LKST(Linux Kernel State Tracer)	○	×
SJIS対応	○	×
日本語外字機能対応	○	×
Windowsファイルサーバ(Samba)日本語対応	○	×

Do the Next, Open your Window

MIRACLE

サポート比較

MIRACLE LINUX V3.0
Asianux Inside

VS

Red Hat
Enterprise Linux AS V3.0



	MIRACLE	Red hat
製品価格	¥63,000	¥207,900
ライセンス	製品を購入すれば永久使用可能	Subscription Lisence (年間使用料方式)
インストールサポート	3ヶ月分を価格に含む	1年分を価格に含む
パッチ／修正情報の入手	無償	年間使用料を払わなければ パッチ入手不可
運用サポート料	¥157,500 (別メニューでダンプ解析サポートを提供)	設定に関するQ&Aを ライセンスに含む
サポート期間	7年以上(2010年12月31日)	7年(2010年10月31日)
販売期間	後継製品出荷後1年間 (通常2年～3年)	後継製品出荷後直ちに出荷 停止(1年～1.5年)
セキュリティパッチの提供	迅速にリリース	迅速にリリース
セキュリティホールの情報	日本語メールで通知	英語メールで通知
3年間のサポート込み費用	¥535,500	¥623,700
5年間のサポート込み費用	¥850,500	¥1,039,500

Do the Next, Open your Window

MIRACLE

技術支援比較

MIRACLE LINUX V3.0
Asianux Inside

VS

Red Hat
Enterprise Linux AS V3.0



	MIRACLE	Red hat
エンジニア	国内に約20名配備 Oracle, クラスタソフト, セキュリティなどを含め国内で対応可能	国内には少数、米国本社に多数 国内での深いサポートは難しい
サポート体制	国内にて体制を作っている 自社のみでなく、IHV、ISV、日本オラクルと協業し、サポート体制を充実	オーストラリアのサポートセンターで対応
日本語モジュール	Sambaをはじめ日本語化はパッケージ同梱製品にて対応しており、サポート対象範囲	製品メディアでも日本語モジュール対応はあまり行われていない
エンタープライズ向けサポート	ダンプ解析やカーネルソースの追跡を含むサポートが可能 必要に応じて、修正パッチを提供	日本国内では体制がない
高度な技術支援	機能検証やベンチマークテストの際に、カーネル関連の高度な技術問い合わせ対応、調査等が可能	米国本社との調整が必要

ミラクル高可用性DBソリューション



■ ミラクルの高可用性ソリューション

➤ HAクラスタ

- CLUSTERPRO
- LifeKeeper

➤ Oracle Real Application Clusters (RAC)

- Enterprise Edition: 4ノード
- Standard Edition: 2ノード

➤ スタンバイデータベース

- Data Guard
- 基本スタンバイデータベース

<ミラクル導入支援サービス>

■ ソリューション・パック

- [WindowsユーザのためのSamba導入コンサルティング](#)
- [Oracle RAC導入パック](#)
- [Oracle HA導入パック](#)
- [Oracle Data Guard導入パック](#)
- [Oracle Database Tuning導入パック](#)

Oracleの高可用性ソリューションからHAクラスタシステムまでを包含
☆RAC + Data Guard から CLUSTERPROまで

ミラクル高可用性DBソリューション:強み



■ HAクラスタ (CLUSTERPRO)

- NECのOEMとして**MIRACLE CLUSTERPRO**を出荷
 - CLUSTERPRO for Linux Ver3.1 (EM64T)
 - MIRACLE LINUX V3.0 (for x86-64)
- MIRACLE CLUSTERPRO V3.1(MLV4.0バンドル版) 12月出荷予定
- Linux/CLUSTERPROのOne Stopサポートを提供

MIRACLE CLUSTERPRO - Asianux Inside

クラスタ
パッケージ製品

NEC ©
2CPU・ライセンス
「CLUSTERPRO for Linux Ver3.1」

Do the Next, Open your Window
MIRACLE
2ノード・ライセンス
「MIRACLE LINUX V3.0 – Asianux Inside」



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

ミラクル高可用性DBソリューション:強み



■ RAC

- 日本初のLinux版 RACのTSUTAYA Onlineより、パートナー、エンドユーザに対してOracle RACにかかわる技術支援サービスを提供
- すでに64bitシステムでのRAC on Linuxの実績あり
- OCFS/ASMLibなどOracle OSSパッケージを標準サポート
- RAC on Linux特有な障害に対して、バックエンドサポートを提供

ニュース / 業界動向



ツタヤ オンライン、基幹データベースシステムをLinuxに

2002年11月30日

TIS(株)、デルコンピュータ(株)、日本オラクル(株)、ミラクル・リナックス(株)の4社は、(株)ツタヤ オンラインが運用している基幹データベースシステムをUNIXサーバからLinuxへ移行する作業を支援し、システムの再構築に着手したと発表した。

ツタヤ オンラインは、エンターテインメントWebサイト『TSUTAYA Online』を運営している。現在約300万人の有効会員数があり、会員数の増加に伴い、将来の拡張性確保と管理コスト低減を目的に、これまでシステムを構築してきたTISなどにシステム再構築の検討を求めたのだという。その結果、『MIRACLE LINUX』と『Oracle9i Real Application Clusters』、『Dell PowerEdge』、『Dell|EMC FC4700-2』を組み合わせたシステムが、コストパフォーマンスや拡張性に優れていると確認したという。現在は2003年1月末の運用開始を目指して移行作業を開始している。

Do the Next, Open your Window

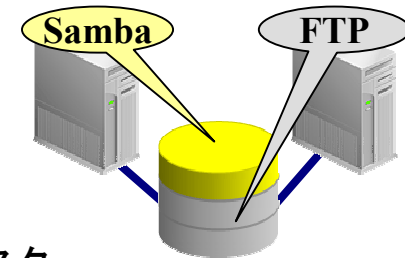
MIRACLE

ミラクル高可用性DBソリューション: 事例紹介



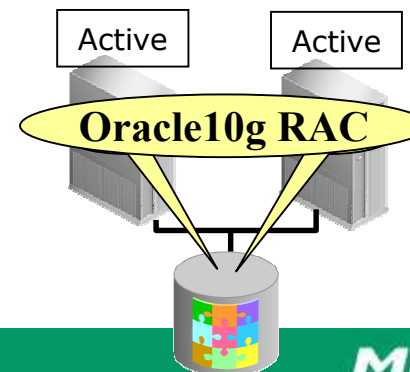
■ HAクラスタ

- Yahoo! 縁結び様
 - Oracle9i Database / CLUSTERPRO LE / 片方向クラスタ
- 自治体
 - Samba-LDAP(PDC,BDC) / CLUSTERPRO LE / 双方向クラスタ
- 液晶工場
 - ファイルサーバ, FTPサーバ / CLUSTERPRO SE / 双方向クラスタ
- 携帯サイト
 - Oracle Database 10g / CLUSTERPRO SE / 片方向クラスタ
- メール送信サービス(ASP)
 - Oracle Database 10g / CLUSTERPRO SE / 片方向クラスタ / SANet II SCSI



■ RAC

- サイバーマップ・ジャパン様
 - Oracle Database 10g / EE RAC
- ディアゴステイーニ・ジャパン様
 - Oracle Database 10g / SE RAC / 64bit



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

5社との協業について

5社との協業について: Oracle DB (日本オラクル)



Oracle on Linux の技術力

■ エンジニアの技術力

- Oracleエンジニアを多数配備し、Oracle on Linux についてOracle側から、OS側からのソリューションを提供
- OCFS/ASMLibなどOracle OSSパッケージのサポート
- 非同期I/O、DirectI/Oを含めOracle on LinuxのI/O関連のチューニング

■ サポート体制

- Unbreakable Linux 対応OS
- Oracle on Linux の切り分けの難しい障害に対して対応可能
 - RAC on Linuxバックエンドサポート
 - OracleDB + HAクラスタ(CLUSTERPRO/LifeKeeper)のOneStopサポート

■ ML3.0 サータィファイ状況

- Oracle 9i DB R2, Oracle DB 10g R1, Oracle DB 10g R2(10月予定)
- Oracle AS 10g R1, Oracle AS 10g R2(10月予定)

5社との協業について: CLUSTERPRO (NEC)



国産ベンダー同士のいいとこ取り

■ MIRACLE CLUSTERPRO

- バンドルパッケージ製品として2002年より出荷開始
- OEM製品として2004年6月からMIRACLE CLUSTERPROを出荷

■ サポート体制

- 国内に開発元を持つNEC/MLのスキームで迅速かつ、柔軟にサポート
 - 重大な障害が発生した際に、両社の開発社が直接対応可能
 - ミッションクリティカルなシステムに対して、OS/クラスタに関して国内で完結
- OS, CLUSTERPRO, Oracleに関する問題の切り分けはすべてミラクル社が対応可能
 - OS/CLUSTERPROのOne Stop サポートを提供
 - ハード以外の問題について、すべてミラクル側で切り分けを実施

5社との協業について: SANet II (dotHILL)



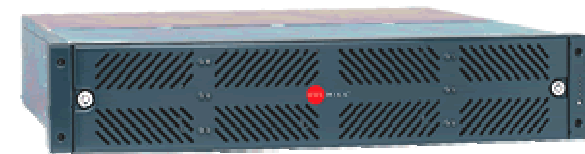
ミラクル高可用性ソリューションの推奨ストレージ

■ SANet II

- NEBSレベル3(キャリアクラス)、Switch-less SAN、SUN Microsystems(StoreEdge)へOEM供給
- Asianuxを積極的にサポート
- 高可用性システム分野で積極的に協業
 - MIRACLE CLUSTERPRO + SANet II の実績

■ ソリューション

- ML + SE RAC + SANetII で安価にRACシステム
- ミッションクリティカルなキャリア向けソリューションの展開
 - Stratus ftServer(Asianux2.0) + SANet II



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

5社との協業について:PFU



Oracle も、CLUSTERPRO も、MIRACLE LINUX も、

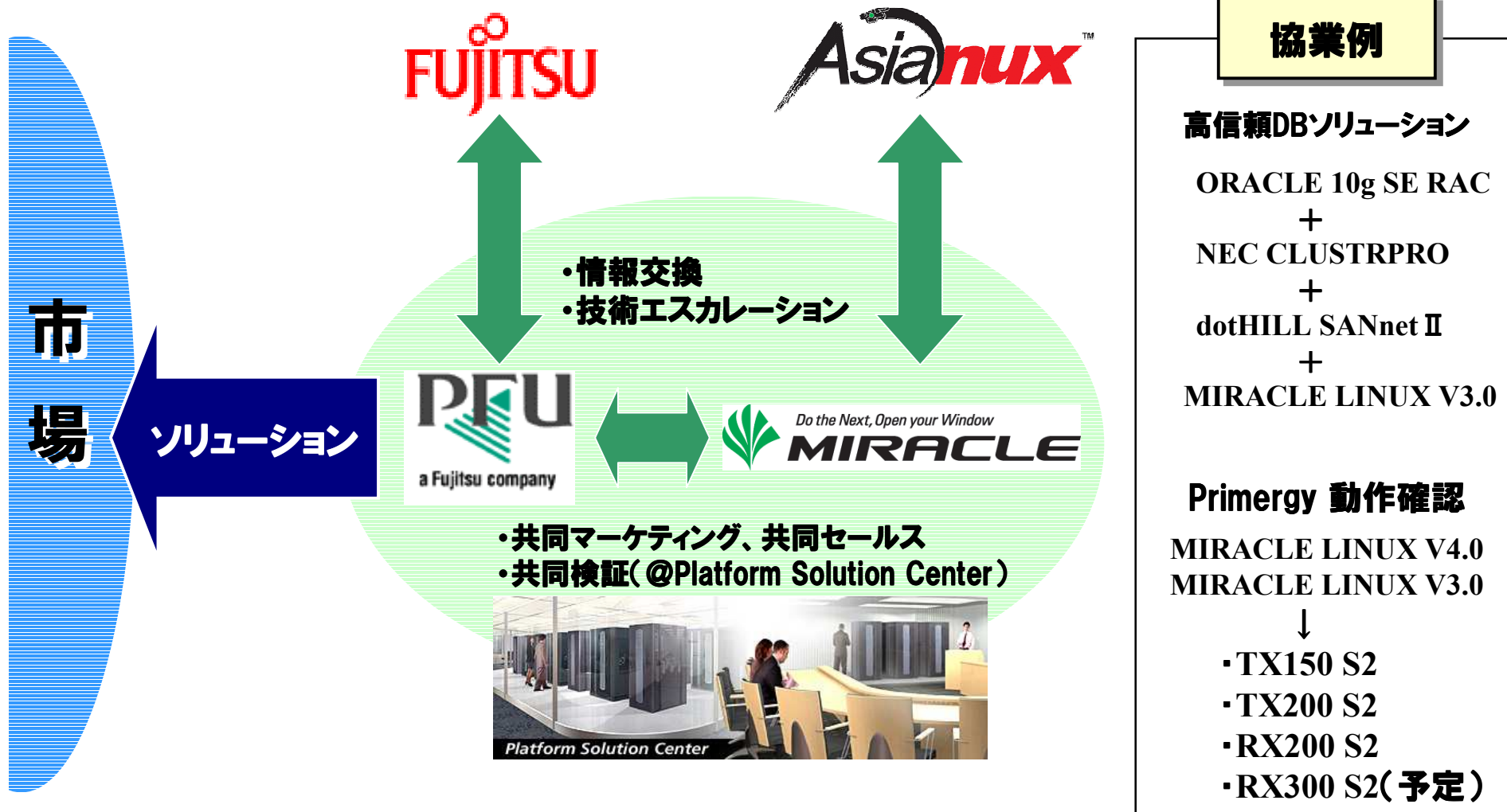
■ Linuxソリューションで協業

- ミラクル・リナックの1次サポートパートナー
- Samba-LDAP導入サービスで協業

■ 高可用性DBソリューション

運用形態 オープンシステム構成	ローエンド	ミドルレンジ	ハイエンド	備考
	(HA)	(HA/RAC)	(RAC)	
PRIMERGY	○	○	○	サーバ
MIRACLE LINUX	○	○	○	OS
SANnet II	—	FC	FC	ストレージ FC
CLUSTERPRO	ネットワーク ミラー型	共有ディスク型	共有ディスク型	クラスタソフトウェア
Oracle10g RAC	SEOne	SE/SE RAC EE/EE RAC	EE/EE RAC	DBソフトウェア

5社との協業について:PFU



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

高可用性システム事例紹介

～デアゴスティーニ・ジャパン様～

デアゴスティーニ・ジャパン様 紹介



- パートワーク(分冊百科)において世界33ヶ国、全世界市場50%を超えるシェア
 - 1988年に日本進出
 - 現在まで70タイトルを創刊
- 2005年創刊の「和風ドールハウス」創刊号11万部、「そーなんだ(改訂版)」創刊号65万部超の実売、「世界の昆虫データブック」等絶好調
- ビジネスを支えるのはパートワークの「定期購読管理システム」



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

デアゴスティーニ・ジャパン様の課題



デアゴスティーニ・ジャパン
石川様

- 急速な売上増加に対応し、顧客へのサービス向上を図るため、「定期購読管理システム」のスケーラビリティと信頼性を強化する必要があった
- 従来のシステム：
 - Windows(32bit) + Oracle(シングルノード)
 - 他の業務システムは大半がWindows
- 当初、Oracleの実績とWindowsへの慣れがあったため、Windows2003(32bit) + Oracle RAC の導入を検討

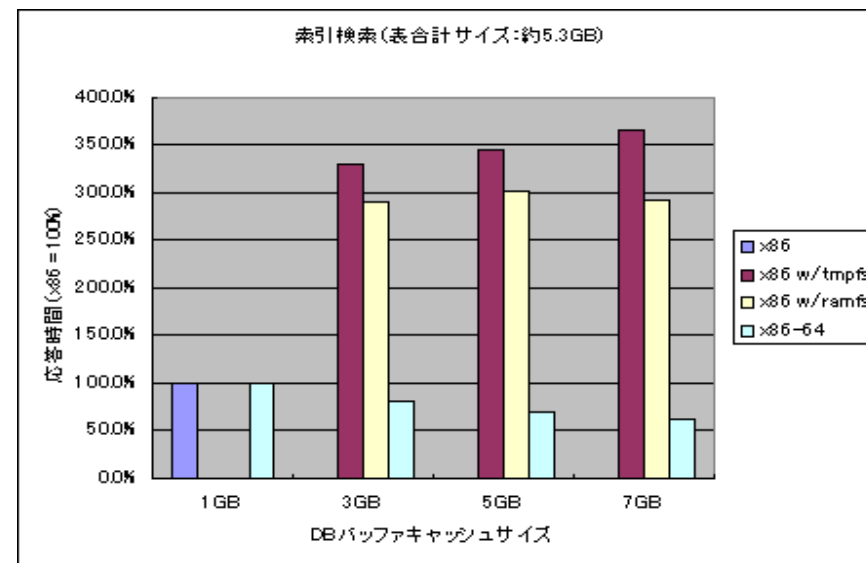
64bit Oracle on Linux選択の理由



- 既存システムの可用性強化のため、**Oracle10g RAC**を導入
 - 導入コストと商用UNIX並みの信頼性向上を期待しLinuxベースに決定
 - Oracle Enterprise Managerの利用により、未経験でも運用管理が可能と判断
- **64bit化により、Oracleデータベースのパフォーマンスが5倍向上。将来に渡る拡張性と信頼性の確保を期待**
 - MIRACLE LINUX V3.0 for x86_64は32bit互換モードがあり、安心して移行ができた。

Oracle Database 10g: 索引検索

64bitの方が
5倍性能向上



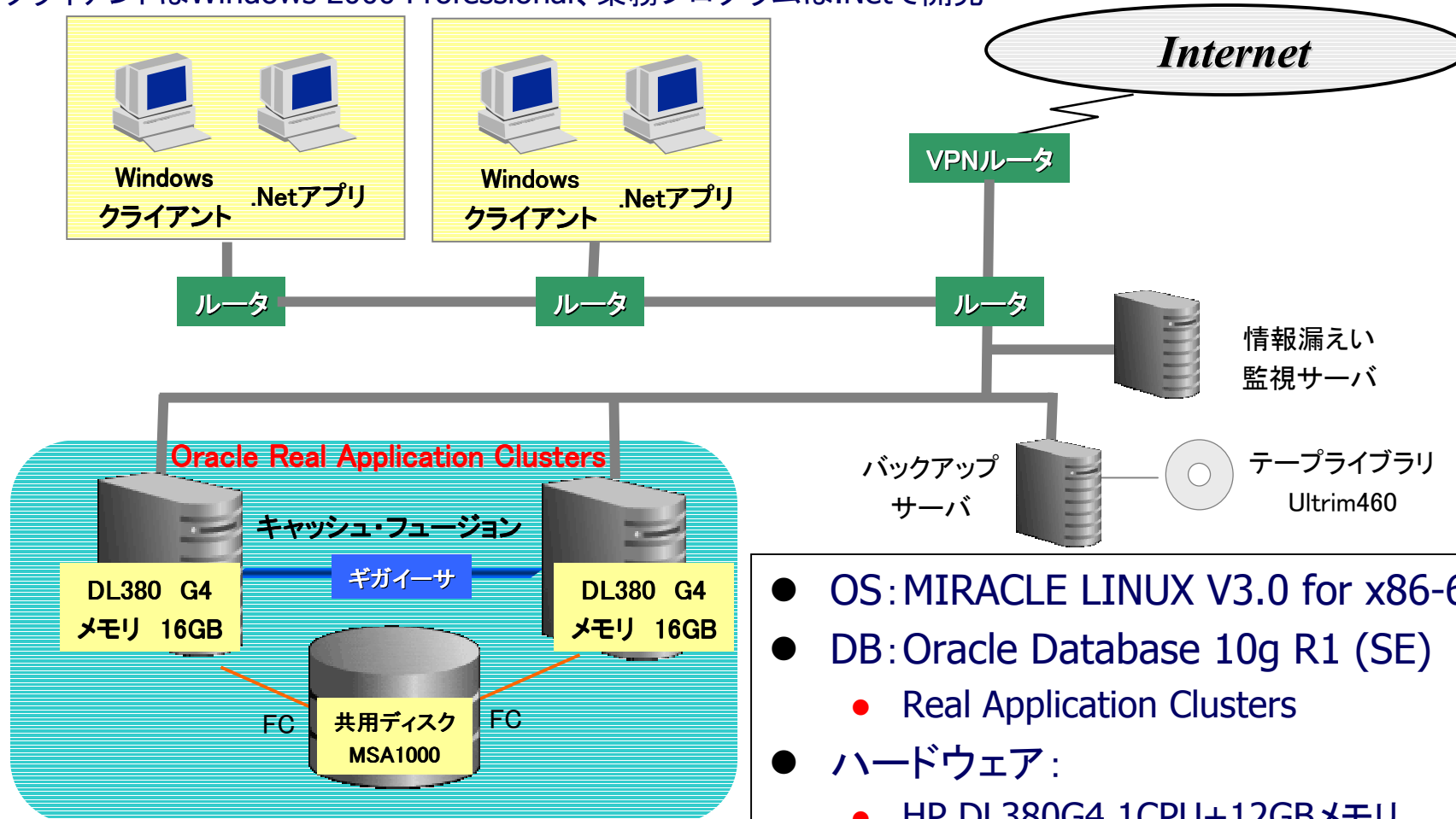
Do the Next, Open your Window

MIRACLE

システム構成図



※クライアントはWindows 2000 Professional、業務プログラムは.Netで開発



- OS: MIRACLE LINUX V3.0 for x86-64
- DB: Oracle Database 10g R1 (SE)
 - Real Application Clusters
- ハードウェア:
 - HP DL380G4 1CPU+12GBメモリ
 - HP MSA1000 Fiber Channel接続



導入効果

■ システムメリット

- Oracle10g RAC導入によって、無停止データベースを構築できた。
- Cluster化により、Oracleデータベースのアップデートがオンラインで可能となった。
- 64bitシステムによって、現システムの性能向上を実現したとともに、将来の負荷増加に備えることができた。

■ コストメリット

Windowsベースで構築した場合：

- Windows2003 Enterprise Edition (719,000円※2) × 2台 = 1,438,000円
- クライアント・アクセス・ライセンス(CAL) : 5,200円 × クライアント数※2: 推定小売価格

MIRACLE LINUXベースで構築した場合：

- MIRACLE LINUX V3.0 for x86-64 (60,000円) × 2台 = 120,000円
- クライアントライセンス：不要

価格差：1,280,000円！



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

【お問い合わせ先】

info@miraclelinux.com

<http://www.miraclelinux.com>

新製品 ～11月7日デビュー～



MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside

～ 運用管理と日本語環境を徹底追求。
顧客満足度No.1を目指す完成度の高さ～

～ RAS機能強化を図り、99.999%の可用性を～



製品名称	MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside
価格	¥ 60,000 (税込 ¥ 63,000)
出荷日	2005年11月7日(月)
Platform	インテル® Pentiumプロセッサ, Xeon™ プロセッサ, 64ビット インテル® Xeon™ プロセッサ, AMD Opteron™ プロセッサ, AMD Athlon™ プロセッサ
備考	1サーバライセンス: CPU・メモリの利用制限はなし 90日間無償インストールサポートおよび無償修正モジュール取得権利付き(7年間)

Do the Next, Open your Window

MIRACLE

1CPU限定モデル ～12月12日デビュー～



MIRACLE LINUX One V4.0 – Asianux Inside

～ システム導入コストを安価に構築したい顧客向け～
～ GUIによる管理機能を強化し、簡単にシステム管理～

製品名称	MIRACLE LINUX One V4.0 – Asianux Inside
価格	¥ 36,000 (税込 ¥ 37,800)
出荷日	2005年12月12日(月)
H/W限定	CPU:1CPU Memory: 4GB
用途	エッジサーバ(WEB、メール、ファイル、DNS) オープンソースソリューション(LAMP)/Windowsプラットフォームからの移行(ファイルサーバの代替)等を目的としたSMB市場向け
備考	90日間無償インストールサポートおよび無償修正モジュール取得権利付き(7年間)



Do the Next, Open your Window

MIRACLE

サポート付き製品～バリューパック登場～



MIRACLE LINUX V4.0バリューパック

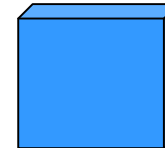
特徴

1. 「年間プロダクト・サポート契約とMIRACLE LINUX V4.0バンドル」
2. 「単体で購入するよりも割安」
3. 「一括して複数年契約すると格安」

バリューパック

年間プロダクトサポート
定価:¥150,000

MIRACLE LINUX V4.0
定価:¥60,000



更に、出荷記念として
期間限定キャンペーン
2005年12月12日から
2006年3月末まで

年	RH AS	MIRACLE 通常定価	MIRACLE バリューパック	MIRACLE バリューパック・キ ャンペーン
1年	¥198,000	¥210,000	¥180,000	¥150,000
3年	¥504,000	¥510,000	¥450,000	¥400,000
5年	¥840,000	¥810,000	¥720,000	¥650,000

6万円お得

10万円お得

16万円お得

Do the Next, Open your Window

MIRACLE

ハードウェアベンダーアライアンス状況(1)



正式サポートパートナー

- NEC: BTOモデル出荷済みおよび一次サポートOS
<http://www.express.nec.co.jp/linux/product/base-service.htm>
- EMC HQ: EMC Support Matrixに掲載済み
<http://www.emc.com/interoperability/index.jsp>
- Oracle: MetalinkにてUnbreakable Linuxとして正式Certify
<http://www.oracle.com/technology/support/metalink/index.html>
- 東芝: Linuxバンドルサービス対象製品
http://www3.toshiba.co.jp/dmsn/iaserver/ss/linux_bundle/ss_linux.htm
<http://linux.toshiba-dme.co.jp/linux/magnia/index.htm>

技術アライアンスパートナー

- ストラタス: ストラタスサーバのバンドルモデル提供予定
http://www.miraclelinux.com/pressroom/details/2005/0524_1.html
- 日立: Linux高信頼化のための評価、開発を共同で実施
http://www.miraclelinux.com/pressroom/details/2005/0530_1.html
<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/support/confirm/200507/index.html>

ハードウェアベンダーアライアンス状況(2)



動作確認パートナー

- 日本IBM:Linux動作確認モデルに情報を掲載
<http://www-6.ibm.com/jp/servers/eserver/xseries/os/linuxsupport.shtml>
http://www-6.ibm.com/jp/servers/eserver/xseries/os/linuxsupport_tower.shtml
http://www-6.ibm.com/jp/servers/eserver/xseries/os/linuxsupport_bc.shtml
http://www-6.ibm.com/jp/servers/eserver/xseries/os/linuxsupport_onboard.shtml
- 日本HP:Linux動作確認(システム構成図)一覧に情報を掲載
<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/linux/mainstream/support/makeup/index.html>
- HP AP: Linux and Open Source Lab Chinaにて動作確認情報を掲載
http://h50236.www5.hp.com/solutions/copartner/Eng_version/linux_lab/RFLinux-Proliant.htm

ML社独自動作確認パートナー

- 富士通
PFUとのアライアンスにて対応
- DELL
個別案件およびISVパートナーとしての協業

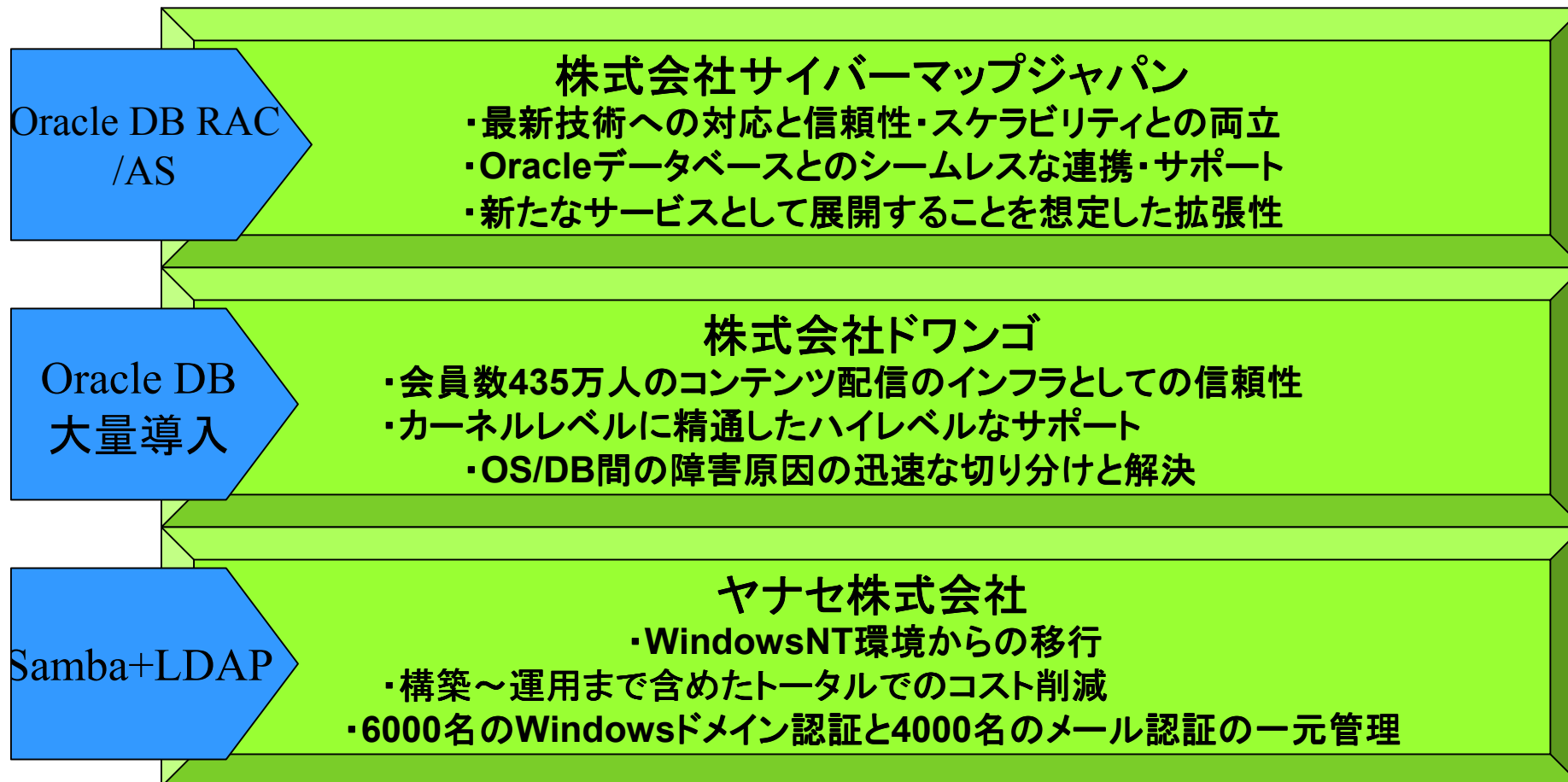
全ての動作確認情報は、以下のURLに掲載。

<http://www.miraclelinux.com/products/linux/hwlist/index.php>

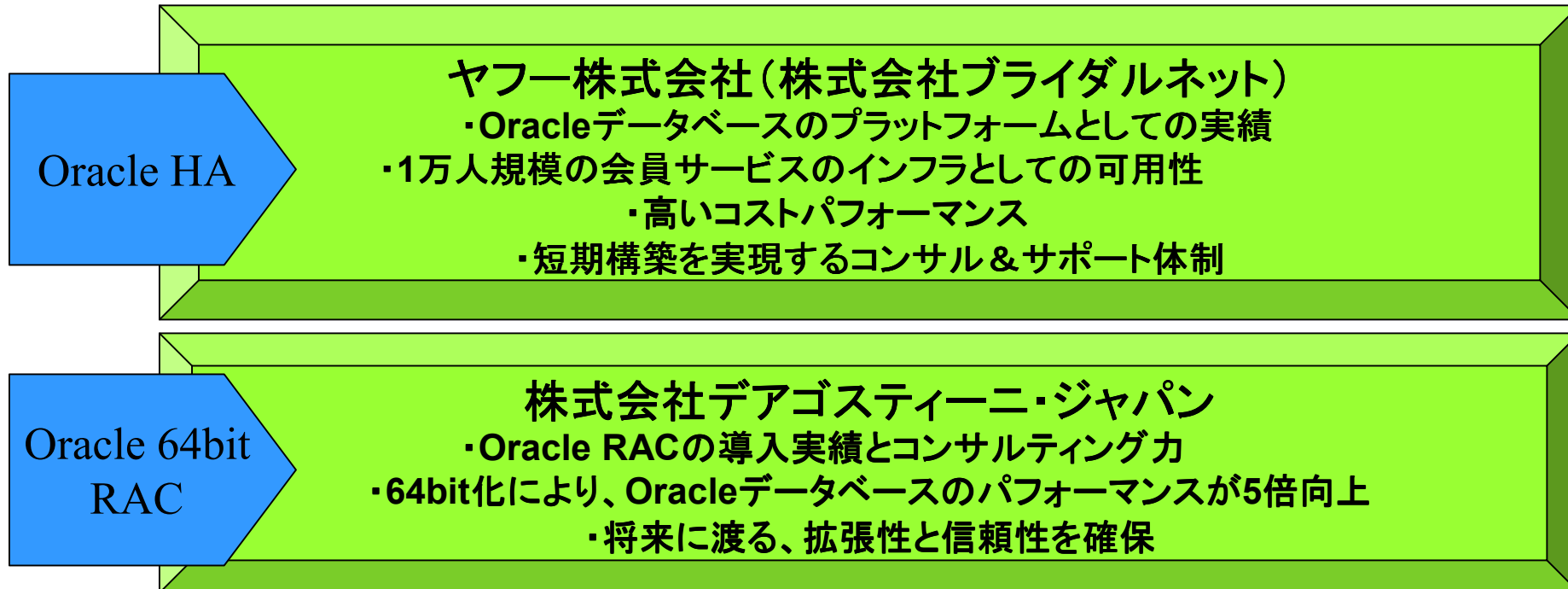
Do the Next, Open your Window

MIRACLE

事例紹介(1)



事例紹介(2)



事例の詳細については、以下のURLに掲載。

<http://www.miraclelinux.com/products/case/>

Asianux事例紹介



大量導入

NEIS(National Education Information System)

- ・ Ministry of Education and Human Resourcesによるプロジェクト
- ・ 韓国全土の高校・中学・小学校に2300台のサーバが設置される。
- ・ RedHat/SuSEのコンペを破り、Haansoft+Asianuxが勝利

大量導入

Gwang-Ju(光州) OSS City

- ・ 2006年から3年間に渡り、Server/Desktop/組込Linuxに市関連の全てのシステムをLinuxに移行する。

大量導入

国家プロジェクトにより大量利用

- ・ 国家郵政総局 (China Post)
- ・ 国家経済貿易委員会 (State Economic & Trade Commission)
- ・ 国家安全部 人民代表大会常務委員会情報
- ・ 全国総工会
- ・ 国家科技部

Do the Next, Open your Window

MIRACLE